

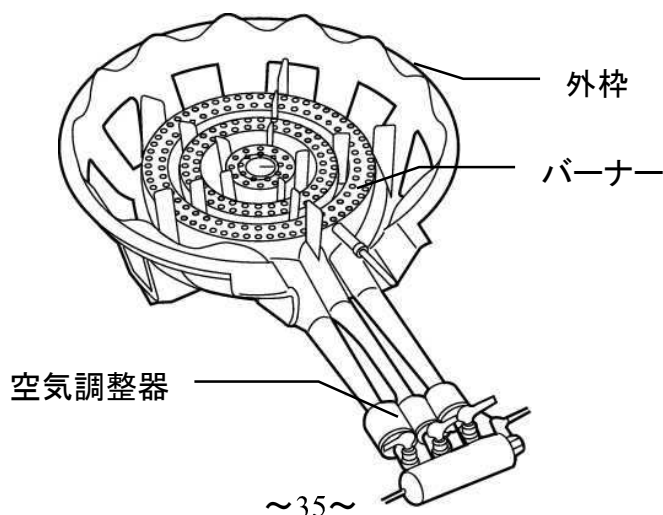
◆商品情報

品番	SB-201(大) SB-301(特大)
サイズ	コンロ本体(大): $\phi 330\text{mm} \times \text{L}505\text{mm} \times \text{H}115\text{mm}$ コンロ本体(特大): $\phi 435\text{mm} \times \text{L}670\text{mm} \times \text{H}160\text{mm}$
重量	8kg(大) 20kg(特大)
消費量	ガス消費量(大): 0.55kg/h ガス消費量(特大): 0.95kg/h

◆使用する際に注意すること

- ・器具が使用ガスに適合していることを銘板で確認してください。表示以外のガス(詳しくはメーカー取扱説明書をご覧ください)を使用しないでください。不完全燃焼で一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりするおそれがあります。
- ・設置の際はコック下側に床やその他のものが当たらないように必ずすき間があくようにしてください。下からコックを押し上げる形になると、ガス漏れになるおそれがあります。
- ・設置する際の床面は必ず不燃物にしてください。
- ・充分換気のできる場所にて使用してください。また、強い風が吹き込む場所は炎が消え、ガス漏れになるおそれがありますので設置しないでください。
- ・器具は水平で安定した場所で使用してください。
- ・カーテンや燃えやすいものの近くには設置しないでください。
- ・器具は側面20cm以上、背面15cm以上、天井は1m以上離れた状態で使用してください。
- ・本体とプロパンガスボンベは1.5m以上離して使用してください。
- ・商品は鋳物でできていますので取扱いには十分注意してください。

◆各部名称



◆使用方法

STEP.1 ～使用前の準備～

- ・ゴム管はホースエンドの赤線の部分までしっかりと差し込んで、必ずホースバンドで閉めてください。
- ・接続するゴム管は本体に接触しないように配管してください。
- ・ビニール管などは絶対に使用せず、プロパン専用のオレンジ色のガスホースをご利用ください。

STEP.2 ～点火時の注意～

- ・点火をする前に、ゴムホース内の空気が完全になくなっているかを確認してください。
※プロパンボンベの元栓を開き、器具のガスコックを数秒(5秒程度)開いて、器具内部の空気を排出します。
- ・点火をする際は必ず鍋などを乗せてから点火してください。点火してからものに乗せると危険です。

STEP.3 ～調理時の注意～

- ・空気取り入れの過不足は炎の形によって現れ、いずれの場合も不完全燃焼を起こし、危険です。
- ・空気の調節は空気調節器を左右に回して行います。コンロに対して右に回すと空気が少なく、左に回すと多くなります。
- ・空気不足の場合は赤黄色の炎になります。この時は不完全燃焼の状態なので注意してください。
- ・空気が多い場合は炎の勢いが強く炎口から離れて出ます。この場合は空気量を調節し、青く勢いよく燃える炎(高さ2cm未満、青白色)になるように調節してください。

STEP.4 ～使用後の注意～

- ・コンロのcockをいっぱい「閉」の方向へ回してください。この時、炎が完全に消えたかをしっかりと確認してください。使用後はプロパンガスの元栓を必ず閉めてください。
- ・使用直後はバーナー、下枠は非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。
- ・器具の移動は、バーナー、下枠が冷えたことを確認してから行ってください。
- ・備品リストを確認し、返却忘れのないように、ご注意ください。

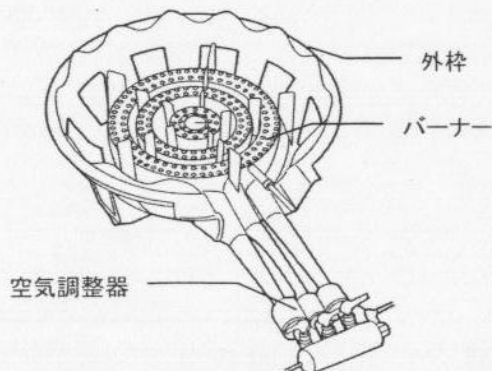
◆商品情報

品番	SB-201(大) SB-301(特大)
サイズ	コンロ本体(大): ϕ 330mm × L505mm × H115mm コンロ本体(特大): ϕ 435mm × L670mm × H160mm
重量	8kg(大) 20kg(特大)
消費量	ガス消費量(大): 0.55kg/h ガス消費量(特大): 0.95kg/h

◆使用する際に注意すること

- ・器具が使用ガスに適合していることを銘板で確認してください。表示以外のガス(詳しくはメーカー取扱説明書をご覧ください)を使用しないでください。不完全燃焼で一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりするおそれがあります。
- ・設置の際はコック下側に床やその他のものが当たらないように必ずすき間があくようにしてください。下からコックを押し上げる形になると、ガス漏れになるおそれがあります。
- ・設置する際の床面は必ず不燃物にしてください。
- ・充分換気のできる場所にて使用してください。また、強い風が吹き込む場所は炎が消え、ガス漏れになるおそれがありますので設置しないでください。
- ・器具は水平で安定した場所で使用してください。
- ・カーテンや燃えやすいものの近くには設置しないでください。
- ・器具は側面20cm以上、背面15cm以上、天井は1m以上離れた状態で使用してください。
- ・本体とプロパンガスボンベは1.5m以上離して使用してください。
- ・商品は鋳物でできていますので取扱いには十分注意してください。

◆各部名称



◆使用方法

STEP.1 ～使用前の準備～

- ・ゴム管はホースエンドの赤線の部分までしっかりと差し込んで、必ずホースバンドで閉めてください。
- ・接続するゴム管は本体に接触しないように配管してください。
- ・ビニール管などは絶対に使用せず、プロパン専用のオレンジ色のガスホースをご利用ください。

STEP.2 ～点火時の注意～

- ・点火をする前に、ゴムホース内の空気が完全になくなっているかを確認してください。
※プロパンボンベの元栓を開き、器具のガスコックを数秒(5秒程度)開いて、器具内部の空気を排出します。
- ・点火をする際は必ず鍋などを乗せてから点火してください。点火してからものを乗せると危険です。

STEP.3 ～調理時の注意～

- ・空気取り入れの過不足は炎の形によって現れ、いずれの場合も不完全燃焼を起こし、危険です。
- ・空気の調節は空気調節器を左右に回して行います。コンロに対して右に回すと空気が少なく、左に回すと多くなります。
- ・空気不足の場合は赤黄色の炎になります。この時は不完全燃焼の状態なので注意してください。
- ・空気が多い場合は炎の勢いが強く炎口から離れて出ます。この場合は空気量を調節し、青く勢いよく燃える炎(高さ2cm未満、青白色)になるように調節してください。

STEP.4 ～使用後の注意～

- ・コンロのコックをいっぱい「閉」の方向へ回してください。この時、炎が完全に消えたかをしっかりと確認してください。使用後はプロパンガスの元栓を必ず閉めてください。
- ・使用直後はバーナー、下枠は非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。
- ・器具の移動は、バーナー、下枠が冷えたことを確認してから行ってください。
- ・備品リストを確認し、返却忘れのないように、ご注意ください。